

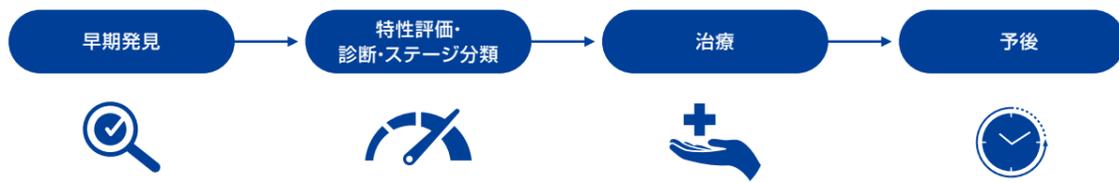
## ケア・パスウェイの強化

# ケア・パスウェイの強化

オリンパスは、アウトカムの向上、患者さんのエクスペリエンスの向上、医療提供者のエクスペリエンスの向上、医療コストの削減の4つの目的を達成するために、ソリューションを継続的に改善していきます。早期発見や診断、ステージ分類、治療、予後のケア・パスウェイの中で、医療水準の向上によって患者さんのアウトカムを改善することに注力します。

### 変化する患者ケアへの期待

“**オリンパスは、医療水準の向上につながるケア・パスウェイの強化に注力します**”



## 大腸がん (CRC) のケア・パスウェイの強化

当社の取り組み 早期発見、および低侵襲手術の手法を促進し、アウトカムの改善と治療費の削減に貢献します

### 疾患の状況

大腸がん (CRC) は毎年約200万人が罹患している世界で3番目に多く診断される悪性腫瘍であり、がん関連死の第2位の死因となっています\*1。早期大腸がんは無症状であることが多く、早期に発見されなければ死亡率が上昇するため、効果的なスクリーニングの重要性が高まっています。また早期発見後、開腹手術はコストと患者さんへの負担が大きいこと、術後の回復期間を短縮し、医療提供者の効率性を向上させる低侵襲医療が選択肢の一つとなっています。

### ソリューション



EVIS X1の先進イメージング技術と、さまざまな消化器科処置器具を組み合わせることで、大腸がんの早期発見・治療をサポートします



ADR\*3向上により、早期発見に貢献 早期がん治療および治療中・治療後の止血管理の安全性や有効性の向上をサポート

○ オリンパスの従来ソリューション ○ オリンパスの新ソリューションによるアンメットニーズへの対応

### オリンパスのソリューションが提供する価値

#### 患者さん

- 早期発見: 生存率の向上に貢献します
- ESD\*4: DualKnife Jなどの専用処置器具を用いた早期がん治療により、術後の回復期間の短縮や患者さんの負担の軽減に貢献します
- RDIとEndoClotを併用することにより、術後の出血リスクの軽減をサポートします

#### 医療提供者

- CADeやENDOCUFF VISIONを用いることで、大腸がんによる死亡率減少効果の指標として知られる、ADR\*3の向上をサポートします\*5
- ESDの手法により、入院期間を短縮し、医療経済にもベネフィットをもたらします\*6

\*1 GLOBOCAN 2020  
\*2 AIによる検出/診断支援  
\*3 ADR = adenoma detection rate

\*4 ESD = endoscopic submucosal dissection  
\*5 Corley, D. A., Jensen, C. D., Marks, A. R., et al. "Adenoma detection rate and risk of colorectal cancer and death," New England Journal of Medicine, 2014;370(14), 1298-1306.

## BPH (前立腺肥大症) のケア・パスウェイの強化

当社の取り組み 泌尿器科疾患に対して低侵襲治療のソリューションを提供します

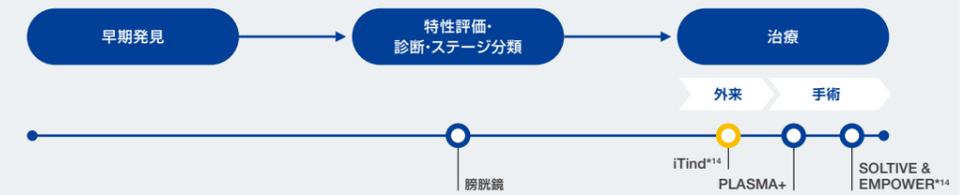
### 疾患の状況

BPHは、前立腺が尿道を圧迫し、生活の質に深刻な影響を及ぼす慢性的かつ下部尿路にさまざまな症状を引き起こす50歳以上の男性に多い疾患です。世界中で約1億人が罹患しており、副作用の重大なリスクにより、手術を望まない患者さんも相当数います。

### ソリューション



iTind\*14は前立腺肥大症の症状を迅速に緩和する\*7、FDAから初めて認可された唯一の低侵襲短期型インプラントです。性功能や排尿機能の維持が可能で\*7、術後のカテーテル留置の必要性を低減します\*7



より低侵襲な治療オプションを増やすことで、対応可能な患者群を拡大

### オリンパスのソリューションが提供する価値

#### 患者さん

- iTind\*14は性功能と排尿機能を損なうリスクを大幅に軽減しながら、外来治療で症状を軽減することが臨床的に証明されています\*8

#### 医療提供者

- 2023年、米国CMS\*9はHOPD\*10またはASC\*11でiTind\*14の症例を実施した場合の保険適用を増額しました
- 代替治療と比較して、症例にかかる時間および費用の削減をサポートします

## 肺がんのケア・パスウェイの強化

当社の取り組み 肺がんを早期に発見し、肺がんの診断、治療までの時間を短縮することに貢献します

### 疾患の状況

肺がんは早期に発見されれば、治療の可能性が高くなります。しかし、新たに発見される肺がん病変の多くは、現在の技術ではアクセスが難しい中枢および末梢部に最初に出現するため、多くの肺結節は適切に診断されていません。そのため、多くの肺がんは治療がより困難で死亡率が増加する後期段階で診断されます。

### ソリューション



EBUSスコープとTBNA針により、肺結節の視覚化とリアルタイムのサンプリングが可能になります。細径EBUSスコープ\*14により、多くの病変が最初に発見される肺の中枢および末梢領域での組織や細胞の採取をサポートします



肺がんの早期発見をサポート

### オリンパスのソリューションが提供する価値

#### 患者さん

- 経胸壁アプローチと比較し、低侵襲で有害事象が少ない症例です
- より多くの肺がんを早期に発見し、アウトカムが向上する可能性があります
- 気胸や入院のリスクが低減されます\*12

#### 医療提供者

- 診断の信頼性向上に貢献します
- EBUSにより病変をリアルタイムに可視化し、検体の採取率が上昇します\*13

\*6 <https://medical.olympusamerica.com/endoscopic-submucosal-dissection> Patients typically experience shorter hospital stays, faster recoveries, reduced pain and less expense after ESD compared to open or laparoscopic surgical procedures.2,3,4,5 Abdelfattah MM, Barakat M, Ahmad D, Ibrahim M, Ahmed Y, Kurdi Y, Grimm IS, Othman MO. Long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection versus surgery in early gastric cancer: a systematic review and meta-analysis. Eur J Gastroenterol Hepatol. 2019 Apr;31(4):418-424. doi: 10.1097/MEG.0000000000001352. PMID: 30694909. Hu J, Zhao Y, Ren M, Li Y, Lu X, Lu G, Zhang D, Chu D, He S. The Comparison between Endoscopic Submucosal Dissection and Surgery in Gastric Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis. Gastroenterol Res Pract. 2018 Feb 18;2018:4378945. doi: 10.1155/2018/4378945. PMID: 29670651; PMCID: PMC5835246. Draganov PV, Aihara H, Karasik MS, Ngamruengphong S, Aadam AA, Othman MO, Sharma N, Grimm IS, Rostom A, Elmunzer BJ, Jawaid SA, Westerveld D, Perbtani YB, Hoffman BJ, Schlichterman A, Siegel A, Coman RM, Wang AY, Yang D. Endoscopic Submucosal Dissection in North America: A Large Prospective Multicenter Study. Gastroenterology. 2021 Jun;160(7):2317-2327.e2. doi: 10.1053/j.

gastro.2021.02.036. Epub 2021 Feb 19. PMID: 33610532. Yang D, Draganov PV. Clinical Updates in Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. Clin Gastroenterol Hepatol. 2022 Feb;20(2):269-271. doi: 10.1016/j.cgh.2021.09.025. Epub 2021 Nov 12. PMID: 34774551.  
\*7 Porpiglia et al. Second-generation of temporary implantable nitinol device for the relief of lower urinary tract symptoms due to benign prostatic hyperplasia: results of a prospective, multi-centre study at 1 year of follow-up. British Journal of Urology International. 2018. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30382600/> BJU Int. 2019 Jun;123(6):1061-1069. doi: 10.1111/bju.14608. Epub 2018 Nov 28.  
\*8 <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30382600/> BJU Int. 2019 Jun;123(6):1061-1069. doi: 10.1111/bju.14608. Epub 2018 Nov 28.  
\*9 CMS = Centers for Medicare & Medicaid Services  
\*10 HOPD = Hospital Outpatient Department  
\*11 ASC = Ambulatory Surgery Center  
\*12 Pneumothorax rates in CT-Guided lung biopsies: a comprehensive systematic review and meta-analysis of risk factors. Br J Radiol. 2020 Mar; 93(1108): 20190866  
\*13 As evidenced with current EBUS and EBUS-TBNA technology  
\*14 医薬品医療機器等法承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております